



四谷地域センター運営委員会コミュニティー誌 令和元年 12 月発行 No.112

【四谷地域センターのホームページ URL は <http://ycc.tokyo/>】



シリーズ「四谷の碑めぐり」

～新宿区立四谷第四小学校

幼稚園跡地碑～

四谷地区にはこれまで7つの公立小学校が存在しました。戦災や統廃合の結果今残っているのは四谷小学校、四谷第六小学校、花園小学校の3つです。四谷第四小学校は一九〇六年に立てられ二〇〇六年には百周年を迎えましたが翌二〇〇七年に統廃合され廃校となりました。

跡地は学校時代の姿をほとんど残して「四谷ひろば」として地域コミュニティーの核として活用されています。

この度の台風をはじめ  
度重なる災害で被災された多くの方  
達、亡くなられた方々には心からの  
悔やみを申し上げ、一日も早い復興を  
お祈り申し上げます。

## 文化の街 あれこれ

《 東京 2020 大会は WELCOME&ENJOY のとき 》

～感動の祭典を体験できる瞬間が、まもなく四谷にもやってくる～

新宿区 東京 2020 大会 区民協議会委員 山本 芳裕

オリンピック・サッカーワールドカップ・ラグビーワールドカップが世界三大スポーツイベントとされています。この三大スポーツイベントの三つとも開催した国は、イギリス・フランスそして日本の三か国しかないのです。誰も経験をしたことがない、予想をはるかに超える盛り上がりを見せるであろう東京2020大会があつという間にやってきます。この四谷にも世界最大のスポーツ祭典・文化の祭典を直接体験できる瞬間が近づいてきています。競技はもちろんですが、大会の成功は会場までの移動にあると思っています。それを支えてくれているのがボランティアや地域の方々の「おもてなし」だと思っています。来場される方も、地域の方々も自然と気持ちは高まっていき新たな交流が生まれるはずです。どの競技も選手は、皆さんの応援を力に換えて最後の最後まで力の限り、頑張ってくれます。時には力以上の結果も生んでくれることもあります。大会期間中、海外から多くの方が四谷にも足を運んでくれることでしょう。

東京2020大会で盛り上がるのは競技だけではありません。食・文化・音楽の祭典でもあるのです。地域の方々との交流も重要な役割です。自らが「Welcome to YOTSUYA」を発信し、大会期間中、



世界最大の祭典「東京2020オリンピック・パラリンピック」の凄さを直接、体感されてみてください。

想像以上の感動が、心の奥深くに刻まれると思います。

ガンバレ！ニッポン選手団、四谷の力で支えましょう！そして、楽しみましょう！

新宿区では毎年、区民の皆様と区長が直接、意見交換する「しんじゅくトーク」を開催しています。ことしは去る10月21日(月)肌寒い秋の夜午後7時より四谷地域センター多目的ホールに於いて「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区の取り組みについて」というテーマで行われ、参加してくださった地域の方達から多くの意見を頂き、又、日頃身近に感じている事例についてもお話を伺う事が出来ました。ひとつひとつ丁寧に答えられる口調にお人柄を感じました。都庁のおひぎもと「四谷」としては2020東京大会の成功を願うばかりです。

### 区長と話そう 「しんじゅくトーク」



● マラソンの円谷選手がラストの競技場の中で英国の選手に抜かれ銅メダルになったことが心に残っています。

―高山―

● 四谷三丁目町会の父はボランティア活動に追われていました。私は聖火とオリンピックの雰囲気を感じて散歩・・・当時10才の長男は2020大会に警察官として関わります。

―野村―

● 聖火リレーが新宿通りを通ったのを覚えています。

―有賀―

● 小学校六年生の時、テレビ観戦のみでした。

―金澤―

● 嫁いで子育て真っ最中、青空にかかれた五輪マークを見て『頑張らなきゃ』と勇気をもらいました。

―福永―

● 今の若い人は知らないが、当時の体操ニッポン小野選手や水泳ニッポンの山中選手、彼らの活躍に胸躍ったものです。

―石川―

● オリンピックの時は9才でした。先生に引率されて見に行ったマラソンでアベベや円谷があつという間に走り去っていった記憶が強烈な印象として残っています

―榎本―

● 私の思い出は開会式当日です。母と一緒に外苑に行ってきたくて権田原の交番まで行くと式に出る選手団を乗せたバスが何台も到着し中学生だった私はこれから始まるオリンピックにワクワクしたものでした。

―久保木―

# 1964 東京オリンピック

## ～あの日・あの時の思い出～



※写真は運営委員提供



● 聖火に点火した坂井義則くんの勇姿は感動的でした。選手村へ行ったり、学校で戸田ボート場の券が当たり出かけて行ったり、当時四谷はお祭りのようでした。

―高村―

● 当日、開会式を担当するアナウンサーが「日本中の青空をここ東京に集めたような晴天であります」と言っていたのが印象に残りました。

―阿部(和)―

● 「アベベ」は特に記憶に残っています。ぶつちぎりで優勝した場面には感動しました。

―作本―

● 私は高校三年生で陸上を学校で見に行きました

―佐々木―

● 快晴の青空にくっきりと描かれた五輪マークは美しかった

―阿部―

● 五輪マーク、東京の大空でのショーは素晴らしいものでした。実はマークを描いていたお一人は私の友達のお父さん(九州出身)。当時、浜松自衛隊基地を案内して頂き感激したことは今でも忘れません。

―吉川―

● 当時、小学生の私は旧姓が「阿部」でした。「アベベ・ビギラ」が金メダルをとってから「アベベ」というあだ名に変わったことが一番の出来事でした。

―鈴木―

● 中学生だった私は重量挙げのソ連選手ジャボチンスキーのすごく大きな体格(彼はきこりだったそうですが)に驚きました。また、アメリカの水泳選手シヨランダールは出るたびに金メダルをもっていってしまいうし、少しは遠慮したら・・・と思ったものでした

―小西―





10月27日(日)に開催された  
令和最初の大きなお祭り  
**秋の「四谷文化祭」**  
の様子を一部ご紹介!



四谷文化祭の選りすぐり作品を11階談話コーナーに文化の日まで延長展示しました。アート貼り絵、平野さんの作品は鶴亀のおめでたい絵柄を広告紙等の材料を使い立体感を出した作品、日本画の重盛さんの紫陽花の作品は完成までに1年以上かかった細かな色彩です。「新宿パソコンクラブ」はパソコンで描いたとは思えない美しい曲線の花々や風景の作品、四谷班絵手紙小組の筆や絵の具のタッチを生かした絵手紙も見るとの優しい気持ちにしてくれます。「アトリエ・ピウ」の子どもアーティスト達が作る動物のお面は個性が光り、「書 同好会」は繊細な書、迫力のある書など、多くの作品がギャラリーを盛り上げてくれました!

四谷文化週間

## 「しんじゅ Quality (クオリティ) みつばちプロジェクト」(第2話)

社会福祉法人東京ムツミ会ファロ管理者 徳堂 泰作

私たちは、今年の3月26日からスタートしました「しんじゅ Quality みつばちプロジェクト」で実際に蜂を育てる作業を行っている「社会福祉法人東京ムツミ会ファロ」という新宿一丁目にある精神障害者を対象とした就労支援事業所です。

養蜂作業を行なうにあたり、まずは2万匹の蜜蜂（一群1万匹：女王蜂1匹にメスの働きバチ9割とオス蜂1割位で形成）を購入し育てはじめ、5月～7月頃は最大約5万

匹位まで増やすことができました。そして、5月・6月・7月とそれぞれ1回ずつ採蜜を行い、合計約60キロのハチミツを採取しました。やってみて初めて気付いたことは、月ごとにハチミツの味も香りも違うということです。考えてみればその時々咲く

花によってハチミツの味が変わるのも当たり前のことですが、養蜂作業をするまでは考えたこともなかったことでした。季節ごとに違うハチミツを食べ比べ、自然の恵みに感動しました。取れた蜂蜜を商品化する工程で、他の障害者の事業所と連携し、ピンの洗浄、蜂蜜のピン詰、シールによる封緘・成分表示の貼付けなど、それぞれの出来ることを手分けして完成させました。このハチミツは「新宿しQハニー（しんじゅくしーきゅーはにー）」と名付けられ、新宿丸井本館で開催された「しんじゅ Quality ハンドメイドマーケット」でも販売し、多くの方々にご購入いただきました。最近では、都市型養蜂がブームになって

いますが、このみつばちプロジェクトは様々な障害者が協働で行っていることが特徴であり、働くことの喜びと自信を育てていくことに大きな意味があります。そして、地域の皆さんと障害者がみつばちを通して交流し、誰もが住みやすい街になることを願い、このプロジェクトを新宿区のいろんな場所に広めていきたいと考えています。



今後のご報告も  
お楽しみに♪



四谷地域センター運営委員会 主催

### 『山梨ぶどう狩り&見学会バスツアー』

(新宿区地域コミュニティ助成事業)



今回2度目となります地域の方たちと行くバスツアー!!  
晴天に恵まれた9月29日(日)、4倍近い応募者の中から抽選で選ばれた参加者(うち小学生6名)と運営委員会会長以下スタッフ合わせて44名で県立リニアセンター、ぶどう狩り、ワイナリー見学、信玄餅工場見学、BBQなど、とても楽しい時間を過ごしてきました。

このツアーのテーマは「地域の皆様に四谷地域センターを知っていただく事」それと「楽しく交流」です。盛沢山の内容で皆さんの笑顔を見ることが出来ました。アンケートにもたくさんの方のあたたかい声をよせていただきました。

これからも皆様の期待に添いながら地域のコミュニティの核となるよう事業運営を行って参ります。今後も皆様のご参加をお待ちしています。



## 夏休み映画会「典子は、今」の感想文をご紹介します

「しようがないんじゃない」

小学三年 村田 あかね

「典子は今」。この作品の主人公の典子さんは、サリドマイドという薬が原因で両うでが生まれた時からありません。それでも、典子さんは色々な事が出来ます。習字が上手です。スイカもご飯もモリモリ食べます。料理も作ります。べん強も頑張ります。ミシンも使えます。市やく所で仕事もします。そしておうえんしてくれるお母さんと友だち、先生がいます。典子さんは生まれつきの事だから不べんだと思つたことがないそうです。典子さんは普通の人と同じように生きています。

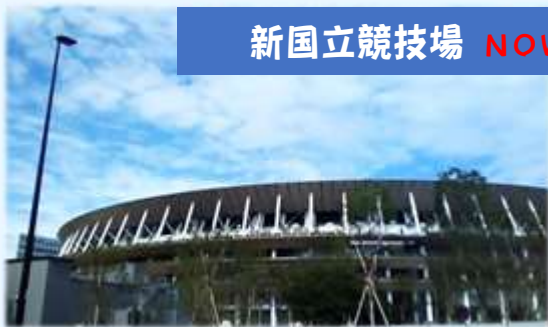
私は、典子さんが通う小学校がなかなか見つからなくて、その時はドキドキしました。ある小学校の校長先生が、典子さんと会つて「この子にしようがないんじゃない。ただ両うでが不べんだだけだよ」と言つてくれてとてもうれしかったです。典子さんが一人たびをする場面では、いつものように足が自由に使えなくて大へんそうでした。親切な人もいますが、典子さんが声をかけても、ころんでしまつても知らんぷりの人もいました。私は映画をみていて、だれかこまつている人がいたら、きょう力できるような人になりたいと思いました。

私はこの映画をみて良かったです。また上映したら色々な人に見てほしいです。私も典子さんのように習字が上手になるようにがんばります。

今回、他にも感想文をお寄せくださった方には

誌面を借りて厚く御礼申し上げます。

## 新国立競技場 NOW!



東京 2020 大会まで残り 280 日を切りました。工事期間中ベールに覆われていた新国立競技場も完成し、12 月 21 日(土)にお披露目式が開催されるそうです。「HELLO, OUR STADIUM」と題して盛大に行われるようで、オープニングイベントには、数々の記録を樹立したあの金メダリスト“ウサイン・ボルト”氏の出演が決まっている様で、観客の歓声が聞こえてきそうです。また、木をテーマにした日本らしい厳かな力強いたたずまいは、そばで見上げると改めて日本のものづくりは世界に誇れるものだと感じます。

## お昼のサロンコンサート



令和最初のサロンコンサート、今回は初めて外国の方をお迎えし、お昼のひとときを過ごしていただきました。ウクライナの民族楽器、バンドウーラときれいな歌声を聴かせてくれたカテリーナさん、ステキでした!

## 四谷地区コミュニティスポーツ大会 結果報告

- ビーチボールバレー
  - 1位: ★花園
  - 2位: 舟町町会
  - 3位: アイラブ大京町
- ポッチャ
  - 1位: ★チーム・ホワイトおうち
  - 2位: 気配り(四谷特別出張所)
  - 3位: ★第一勸信
- 輪投げ(60才以上)
  - 1位: ★舟町1
  - 2位: ★須賀町B
  - 3位: ★舟町2
- 輪投げ(一般)
  - 1位: ★大京町A
  - 2位: ★リンリン
  - 3位: ★大京町B
  - ★大京町C
- ユニカール
  - 1位: ★花園A
  - 2位: ★第一勸信A
  - 3位: ★第一勸信B

★印は第41回中央大会への出場対象チームです。中央大会へは大京町Bが出場します。

### 情報サロン 四谷

#### 四谷子ども園ボランティア

#### スマニさん募集!

四谷子ども園では、午後のなかよしタイム3時半から5時に子ども達と関わってくださるスマニさんを募集しています。子どもの好きな人、そこに居てくださるだけいいんです。是非、来てください! 興味のある方はご連絡ください。

新宿区立四谷子ども園

☎03(53369)3775

担当 古川・尾崎